

鈴木あつこ

NEWS

群馬県議会議員
2023.12 vol.10
リベラル群馬ニュース



いつも温かい応援・ご支援をありがとうございます。

初当選させていただいてから早くも2年以上が過ぎました。皆様にお約束したとおり、子どもや女性、生活に困難を抱える人や社会的に弱い立場の人の声をしっかりと県政に届けられたらどうか、より良い社会へと前進させるために十分働けたらどうかと、自問自答しております。

依然として国や自治体の子育て支援は不十分で、少子化は止まりません。老後の不安を抱える人も少なくないです。世界を見渡せば、武器や兵器が飛び交い、多くの命が奪われています。閉そく感が漂う世の中ですが、だからこそ、今ここで生きる私たちが不安なく暮らせる社会を築くため、そして次の世代やその先の未来に向けて自信をもってバトンを渡せる社会にするために、**私は引き続きあきらめずに走ります!**

議会報告

第3回前期定例会(9月20日～10月11日)では**323億6776万円**の一般会計補正予算案が可決しました。

【主な事業】

- ①子どもの居場所支援臨時特例事業費補助 **932万円**
- ②ヤングケアラー支援強化(普及啓発、研修体制整備等) **300万円**
- ③通学路の安全対策としての除草・河川の伐木除草 **1億円**
- ④デジタルクリエイティブ人材育成の基本構想策定 **4000万円**
- ⑤交通安全施設整備(横断歩道、一時停止線、黄色センターラインの塗り替え) **5000万円**

…など

【自己紹介】

1981年2月15日生
派遣社員を経て
毎日新聞記者として勤務
奈良女子大学を卒業
【家族】
夫・娘・息子



➤➤➤ ①の補足

みなかみ町は8月から、不登校や引きこもり傾向の子どもたちの居場所「**piece of cake(ピースオブケーキ)**」を町内のテレワークセンターMINAKAMI内に開設しました。小学1年生から高校3年生まで利用できるそうです。読書やゲームをしたり、学習したり、スタッフとお話をしたり、一人一人が自分のペースで過ごします。私が見学させていただいた日は、お昼ごろにやってきた子もいました。「家から一步、外に出るきっかけになれば」と町の担当者。運営は一般社団法人「だうぱ」が担い、学校でも家でもない、安全・安心で子どもたちに寄り添った居場所を提供しています。(事業費=国1/2、県1/4、市町村1/4)

➤➤➤ ④の補足

アルメニアの「TUMO(ツーム)センター」
高崎市のGメッセ群馬に、デジタルクリエイティブ人材の育成拠点として、アルメニア発の若者向け教育施設「TUMO(ツーム)センター」を開設する方針が決まりました。アルメニアは人口約280万人、最先端のIT立国だそうです。TUMOは既にパリやベルリンなどで導入されており、県内に設置されればアジア初。Gメッセの有効活用にもなりそうです。希望する全ての若者が利用できる施設になることが重要だと思えます。

➤➤➤ ⑤の補足

5000万円の内訳 新たに塗り直すのは次の通りです。
・横断歩道125カ所 (県内全体では約1万5000カ所)
※塗り直しの要望は1～8月で535件、うち対応済270件
・一時停止線90カ所 (県内全体では約5万9000カ所)
※塗り直しの要望は同477件、うち対応済236件
・黄色センターライン4.6km (県内全体では約3300km)
※塗り直しの要望は同38件、うち対応済12件

➤➤➤ 予算の詳細はコチラ

🔍 群馬県の財政

QRコード



活動報告

公約実現のために、小さな声に耳を傾けるために、様々な現場へ訪問いたしました。「足を使う活動」「話を聴く活動」を継続します!

歩行者や自転車の安全対策
除草が必要な歩道を点検



上信電鉄の「デキ」や現役車両
マイカー依存脱却に鉄道活用を!



岐阜市子ども・若者総合支援
センター「エールぎふ」



国立重度知的障害者総合施設
「のぞみの園」のしいたけ栽培



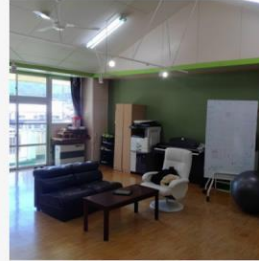
高崎市動物愛護センター
動物の殺処分ゼロを目指します



「のぞみの園」の
児童発達支援センター



みなかみ町の子どもの
居場所「PIECE OF CAKE」



伊香保で「温泉防災EXPO」
避難所運営を体験



「倉賀野城十六騎武者行列」
地元・倉賀野の伝統行事



第2回定例会の一般質問(5月31日)で、草津町にあるハンセン病の国立療養所「栗生楽泉園」と「重監房資料館」を取り上げました。差別と人権の歴史についてさらに深く学ぶため、7~8月に計3回訪問。重監房資料館では、開催中(12月26日まで)の企画展「蘇るハンセン病患者とその家族—木村仙太郎の生存記録・長島愛生園1939-1941—」を、仙太郎さんの親族にあたる独協医科大准教授の木村真三さんや医学生らと一緒に見学しました。また、専門家と共に、療養所で暮らす元患者さんから直接お話をうかがいました。一般質問の際、草津町出身の山本一太知事に現地訪問をお勧めしました。知事は10月に訪れたそうです。今後、元患者さんやそのご家族に対して、また、さまざまな人権問題について、温かさを感じられるような政策を期待しています。



そういえば...

鈴木あつこはなんでオレンジ色なの？

皆様は「オレンジリボン運動」をご存知でしょうか？

オレンジリボン運動とは、子ども虐待防止のシンボルマークであるオレンジリボンを広めることで、子ども虐待をなくす事を呼びかける市民運動です。「子ども虐待をなくす!」という決意を込めて、私はオレンジ色を身に着けています。とりわけ私が訴えたいのは、子どもを取り巻く社会を変える重要性です。

ぜひ、子育て中の親子に「やさしいまなざし」を向けてみてください。虐待の早期発見は大事ですが、監視されているような空間での子育ては息苦しく感じます。あなたのやさしさ、寛容さが、子ども虐待のない社会に繋がります。

チャイルドファースト PROJECT



「子どもたちを守るために、人も街も子育てに優しくなろう」子ども虐待の原因も解決策も、社会の側にあることを気付かせてくれる動画です。

鈴木あつこ後援会のお知らせ

- スキマ時間で! ポスティング
- 無理なく! 楽しく! 座談会の開催
- 少しでも大丈夫! チラシ折込
- 仕事しながらでも楽々! SNS拡散
- 会費は一切かかりません 街頭活動支援
- ポスター貼付

多様性にあふれた後援会です 😊

ご寄付のお願い
群馬銀行 倉賀野支店
(普通) 0802489
鈴木あつこ後援会
税額控除の対象になります